

SEMIANNUAL BUSINESS REPORT 2008

第96期 中間株主通信

平成20年1月1日から平成20年6月30日まで



代表取締役社長

はし もと ふとし
橋本 太

株主の皆様には、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。
また、平素は格別のご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

当期の経営環境と業績

当中間期（平成20年1月1日から平成20年6月30日まで）におけるわが国経済は、原油をはじめとする資源価格の一層の高騰に加え、米国経済の景気停滞や急激な円高が企業収益を圧迫し、設備投資も伸び悩むなど、景気の減速感が強まりました。

化学業界におきましては、原燃料価格の高騰に加え、電力などの操業経費や物流コストも上昇するなど、厳しい事業環境のうちに推移いたしました。

このような状況の下、当社グループでは、生産の効率化に努めるなど一層のコストダウンに取り組むとともに、製品価格の是正、高付加価値製品の拡販など営業活動にも積極的に注力してまいりました。

この結果、当中間期の売上高は814億6千3百万円（前年同期比3.0%増収）となりましたものの、原燃料価格高騰の影響や法人税法改正に伴う減価償却費の増加により、営業利益は59億6千5百万円（前年同期比7.7%減益）、経常利益は円高による為替差損の計上等により61億7千1百万円（前年同期比14.4%減益）、中間純利益は貸倒引当金繰入額の計上等により28億3千4百万円（前年同期比26.0%減益）となりました。

利益分配に関する基本方針

利益分配につきましては、当事業年度の業績、今後の事業展開、業績の進展等を総合的に勘案して、1株当たり年間6円を安定配当の標準とし、株主の皆様へ安定的な利益還元を努めることを基本方針としてまいります。また、内部留保資金につきましては、健全な財務体質を確立・維持することの重要性に留意しつつ、今後予想される競争激化に備えるための研究開発および設備投資の原資として活用してまいります。

当期の中間配当金につきましては、前年と同額の1株当たり4円をお支払いすることを決議いたしました。期末配当金につきましても4円を予定しておりますので、1株当たりの年間配当金は8円となる予定であります。

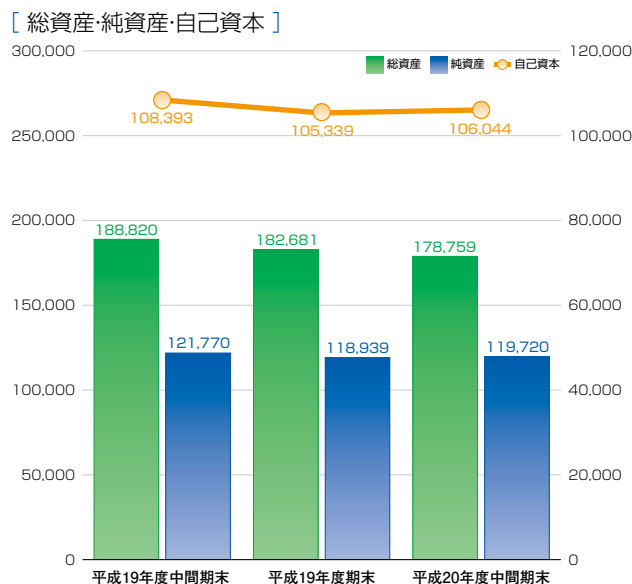
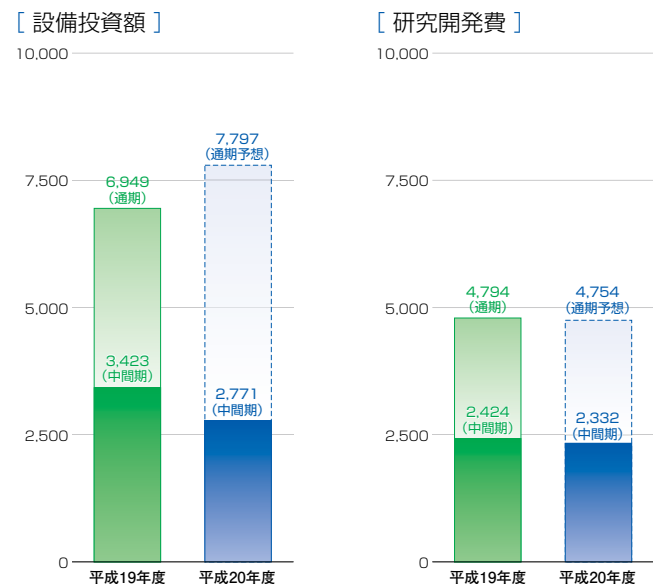
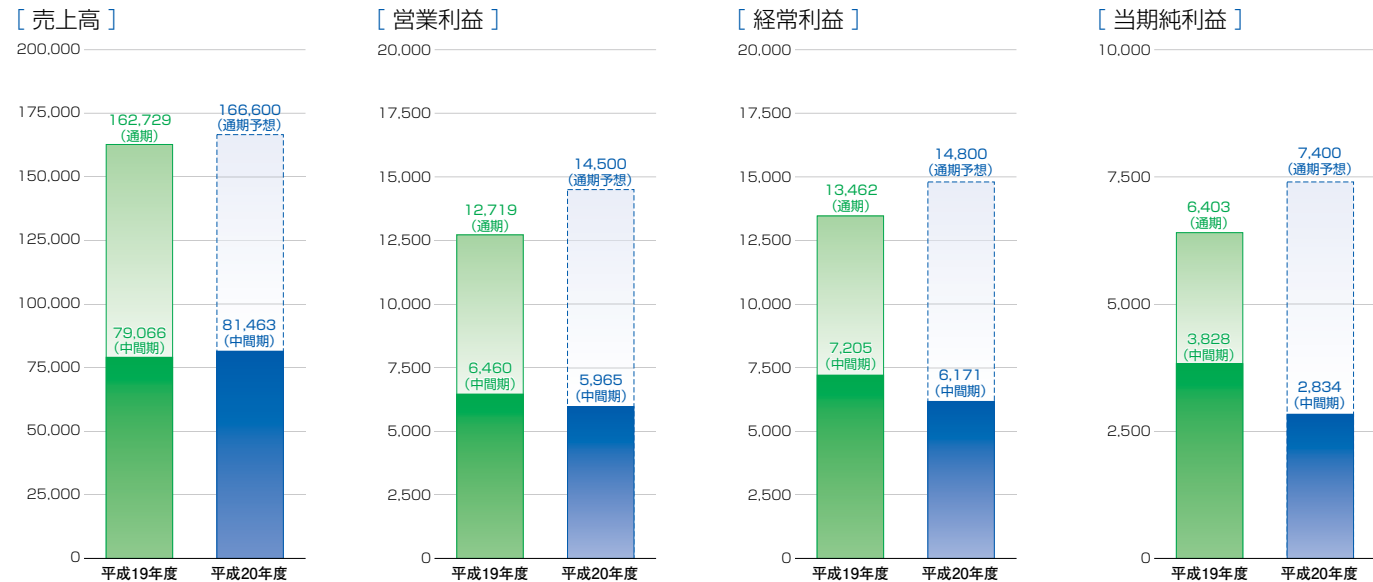
通期の見通し

通期の見通しにつきましては、国内景気の減速感が強まっており、また米国経済の景気停滞の長期化、原油・ナフサ価格動向の不透明感などの懸念材料があり、当社グループを取り巻く経営環境は引き続き厳しい状況が続くと思われま

す。当社グループといたしましては、以上のような状況を踏まえ、一層のコストダウン、原燃料価格の高騰に対応した製品価格の是正に努め基盤事業の強化を図ってまいります。加えて高付加価値製品の拡販による収益構造の変革を進める所存であり、平成20年12月期連結業績予想は平成20年2月14日に発表した業績予想を変更いたしません。

株主の皆様におかれましては、今後とも引き続き変わらぬご支援、ご理解を賜りますようお願い申し上げます。

■平成20年度中間期(連結) (単位:百万円)



■連結売上高セグメント別構成の推移 (単位:%)



■連結セグメント別情報 (単位:百万円)

セグメント	平成19年度中間期		平成20年度中間期		増減	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
基礎化学品	26,480	2,852	26,960	2,658	479	△193
アクリル製品	23,266	991	26,042	768	2,776	△223
機能製品	13,078	2,046	13,187	2,025	108	△21
樹脂加工製品	15,366	1,030	14,502	645	△864	△384
その他事業ほか	873	△460	770	△132	△103	327
合計	79,066	6,460	81,463	5,965	2,397	△495

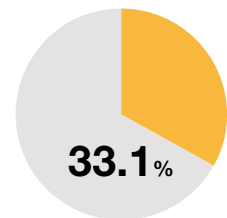
基礎化学品事業

Commodity Chemicals



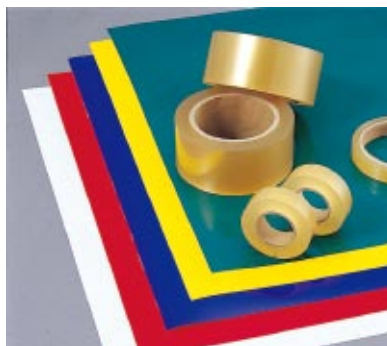
苛性ソーダの原料となる原塩

苛性ソーダは、出荷がおおむね堅調に推移し、製品価格の是正も進みため増収となりました。
 苛性カリは、堅調な需要に加え、製品価格の是正が進みため大幅な増収となりました。
 無機塩化物は、高純度液化塩化水素、塩酸の出荷が順調に推移したものの、過塩化鉄液の昨年の鶴見曹達株式会社の三原工場撤退に伴う減収、液体塩素の需要減少により減収となりました。
 塩素系有機溶剤は、需要の減少により出荷が減少したため、減収となりました。
 硫酸は、出荷が堅調に推移したことに加え、製品価格の是正を進めため増収となりました。
 工業用ガスは、持分法適用会社の製造設備トラブルがあり、出荷が低調に推移したため若干の減収となりました。
 銅製品は、電子材料向けに需要が増加し、出荷が好調に推移したため、大幅な増収となりました。
 これらの結果、基礎化学品の売上高は269億6千万円(前年同期比1.8%増収)、営業利益は塩素系有機溶剤や工業用ガスの減収の影響により26億5千8百万円(前年同期比6.8%減益)となりました。



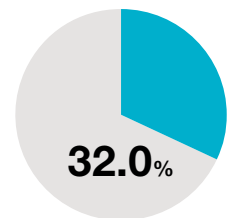
アクリル製品事業

Acrylic Products



アクリル酸エステルは各種粘着剤の原料です

アクリル酸エステルは、塗料や粘着剤向け出荷が堅調に推移し、さらに製品価格の是正を進め結果、大幅な増収となりました。しかし、収益面では急激なナフサ価格高騰に対する製品価格の是正が十分でなく、減益となりました。
 アクリル系ポリマーは、不採算製品の撤退を進めしたものの、無溶剤型アクリルポリマー「ARUFON」などの高付加価値製品の拡販や製品価格の是正を進め結果、やや増収となりました。
 建築・土木製品は、土木関連製品の好調な出荷により増収となりました。
 高分子凝集剤は、輸出の拡大、製品価格の是正により大幅な増収となりました。
 これらの結果、アクリル製品の売上高は260億4千2百万円(前年同期比11.9%増収)となりましたものの、原燃料価格や物流コスト上昇の影響により、営業利益は7億6千8百万円(前年同期比22.5%減益)となりました。



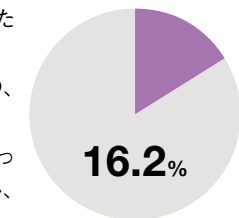
機能製品事業

Specialty Chemicals



光硬化型樹脂「アロニックス」は携帯電話の表面コーティングに使われています

接着剤は、工業用がICカード向けやフレキシブルプリント基板向けの出荷が好調であったものの、米国における一般消費者向けの出荷が低調に推移し、やや減収となりました。
 光硬化型樹脂「アロニックス」は、一部の大手需要家向けの出荷が減少したものの、電子機器向け出荷の増加、製品価格の是正によりやや増収となりました。
 開発製品は、シリコン系高純度ガスが半導体向けの需要の増加により出荷が好調であったことに加え、無機イオン交換体「イグゼ」、銀系無機抗菌剤「ノバロン」も順調に推移し、大幅な増収となりました。
 これらの結果、機能製品の売上高は131億8千7百万円(前年同期比0.8%増収)となりましたものの、光硬化型樹脂の一部需要家向け出荷減少や米国の一般消費者向け接着剤の出荷減少の影響により、営業利益は20億2千5百万円(前年同期比1.0%減益)となりました。



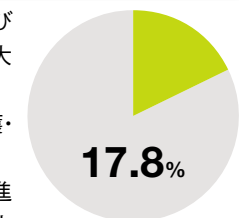
樹脂加工製品事業

Plastics



各種介護用品「安寿シリーズ」は介護用品の統一ブランドです

管工機材製品は、住宅着工の減少や公共投資の発注遅延などの影響により出荷が伸び悩んだほか、厳しい市場環境の中で原材料の高騰に対する製品価格の是正が進まず大幅な減収となりました。
 ライフサポート製品(生活用品関連製品)は、日用雑貨品の出荷が減少しましたが、介護・福祉関連製品は堅調な需要に支えられ増収となりました。
 成形材(合成樹脂コンパウンドなど)は、原材料の値上がりに対して製品価格の是正を進めましたが、需要家による生産調整等の影響を受けエラストマーコンパウンドの出荷が減少したため、やや減収となりました。
 これらの結果、樹脂加工製品の売上高は145億2百万円(前年同期比5.6%減収)、営業利益は6億4千5百万円(前年同期比37.3%減益)となりました。

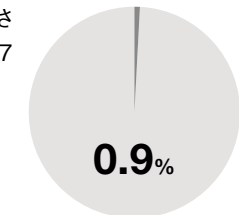


その他の事業

others



新規製品の研究開発事業、設備等の建設および修繕事業、輸送事業などにより構成される当セグメントは、売上高は7億7千万円(前年同期比11.9%減収)、営業利益は3億7千3百万円の損失となりました。



05 中間連結財務諸表

■ 中間連結貸借対照表

資 産 の 部	前 連 結	当 中 間 連 結	増 減 (B) - (A)
	会 計 年 度 末 (A) 平成19年12月31日現在	会 計 期 間 末 (B) 平成20年6月30日現在	
流 動 資 産	80,323	79,662	△660
現金および預金	9,734	8,625	△1,109
受取手形および売掛金	51,061	50,247	△813
たな卸資産	17,379	18,790	1,410
繰延税金資産	732	722	△9
その他の流動資産	1,613	1,419	△193
貸倒引当金	△198	△142	55
固 定 資 産	102,357	99,096	△3,260
有 形 固 定 資 産	68,736	66,773	△1,963
建物および構築物	20,857	20,147	△710
機械装置および運搬具	24,832	23,285	△1,547
工具器具備品	3,316	3,089	△226
土地	18,180	18,011	△169
建設仮勘定	1,549	2,220	670
リース資産	-	20	20
無 形 固 定 資 産	2,294	2,033	△260
のれん	1,163	1,017	△146
リース資産	-	4	4
その他の無形固定資産	1,130	1,011	△119
投 資 そ の 他 の 資 産	31,326	30,289	△1,036
投資有価証券	21,293	19,996	△1,297
長期貸付金	154	125	△29
繰延税金資産	336	437	101
固定化債権	8,562	9,053	491
前払年金費用	476	803	327
その他の投資その他の資産	3,885	3,615	△269
貸倒引当金	△3,381	△3,741	△359
資 産 合 計	182,681	178,759	△3,921

(単位:百万円)

負 債 の 部	前 連 結	当 中 間 連 結	増 減 (B) - (A)
	会 計 年 度 末 (A) 平成19年12月31日現在	会 計 期 間 末 (B) 平成20年6月30日現在	
流 動 負 債	52,068	44,754	△7,314
支払手形および買掛金	21,530	21,879	348
短期借入金	8,602	7,947	△654
コマーシャルペーパー	11,000	5,000	△6,000
未払法人税等	3,522	1,583	△1,938
賞与引当金	184	561	377
製品回収引当金	-	8	8
その他の流動負債	7,229	7,773	544
固 定 負 債	11,673	14,284	2,611
長期借入金	6,867	9,411	2,544
繰延税金負債	1,320	1,412	91
退職給付引当金	723	643	△79
役員退職慰労引当金	148	112	△35
その他の固定負債	2,614	2,703	89
負 債 合 計	63,742	59,039	△4,703
純 資 産 の 部			
株 主 資 本	99,331	101,083	1,752
資本金	20,886	20,886	-
資本剰余金	15,073	15,083	10
利益剰余金	64,096	65,887	1,790
自己株式	△725	△773	△48
評 価 ・ 換 算 差 額 等	6,007	4,960	△1,047
その他有価証券評価差額金	5,841	5,076	△765
繰延ヘッジ損益	2	3	0
為替換算調整勘定	163	△119	△282
少数株主持分	13,599	13,676	76
純 資 産 合 計	118,939	119,720	781
負 債 ・ 純 資 産 合 計	182,681	178,759	△3,921

■ 中間連結損益計算書

(単位:百万円)

前 中 間 連 結	当 中 間 連 結	増 減 (B) - (A)	
	会 計 期 間 (A) 平成19年1月1日から 平成19年6月30日まで		会 計 期 間 (B) 平成20年1月1日から 平成20年6月30日まで
売 上 高	79,066	81,463	2,397
売上原価	57,057	60,293	3,235
売上総利益	22,008	21,170	△838
販売費および一般管理費	15,547	15,204	△342
営 業 利 益	6,460	5,965	△495
営業外収益	1,353	833	△520
受取利息および配当金	369	334	△34
負ののれん償却額	158	-	△158
持分法による投資利益	283	186	△97
雑収	541	312	△229
営業外費用	607	627	19
支払利息	216	162	△53
雑支	391	464	73
経 常 利 益	7,205	6,171	△1,034
特別利益	439	71	△367
投資有価証券売却益	213	22	△190
製造権譲渡益	226	-	△226
貸倒引当金取崩益	-	48	48
固定資産売却益	-	0	0
特別損失	223	671	448
固定資産処分損	202	193	△9
貸倒引当金繰入額	21	346	325
投資有価証券評価損	-	13	13
減損損	-	107	107
出資金評価損	-	10	10
税金等調整前中間純利益	7,421	5,571	△1,850
法人税、住民税および事業税	3,070	1,794	△1,276
法人税等調整額	78	567	488
少数株主利益	443	375	△68
中 間 純 利 益	3,828	2,834	△994

■ 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

前 中 間 連 結	当 中 間 連 結	増 減 (B) - (A)	
	会 計 期 間 (A) 平成19年1月1日から 平成19年6月30日まで		会 計 期 間 (B) 平成20年1月1日から 平成20年6月30日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	10,345	8,375	△1,969
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,659	△4,381	△722
財務活動によるキャッシュ・フロー	△12,528	△5,436	7,092
現金および現金同等物に係る換算差額	39	△64	△103
現金および現金同等物の減少額	△5,803	△1,506	4,297
現金および現金同等物の期首残高	14,186	9,710	△4,476
現金および現金同等物の中間期末残高	8,382	8,203	△178

■ 中間連結株主資本等変動計算書

(平成20年1月1日から平成20年6月30日まで)

(単位:百万円)

	株 主 資 本					評 価 ・ 換 算 差 額 等				少 数 株 主 持 分	純 資 産 合 計
	資 本 金	資 本 剰 余 金	利 益 剰 余 金	自 己 株 式	株 主 資 本 合 計	その他有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ損益	為 替 換 算 調 整 勘 定	評 価 ・ 換 算 差 額 等 合 計		
平成19年12月31日残高	20,886	15,073	64,096	△725	99,331	5,841	2	163	6,007	13,599	118,939
中間連結会計期間中の変動額	-	10	1,790	△48	1,752	△765	0	△282	△1,047	76	781
剰余金の配当	-	-	△1,044	-	△1,044	-	-	-	-	-	△1,044
中間純利益	-	-	2,834	-	2,834	-	-	-	-	-	2,834
自己株式の取得	-	-	-	△65	△65	-	-	-	-	-	△65
自己株式の処分	-	-	-	17	17	-	-	-	-	-	17
株主資本以外の項目の中間連結 会計期間中の変動額(純額)	-	-	-	-	-	△765	0	△282	△1,047	76	△970
中間連結会計期間中の変動額合計	-	10	1,790	△48	1,752	△765	0	△282	△1,047	76	781
平成20年6月30日残高	20,886	15,083	65,887	△773	101,083	5,076	3	△119	4,960	13,676	119,720

■ 中間個別貸借対照表

	前事業年度末(A) 平成19年12月31日現在	当中間会計期間末(B) 平成20年6月30日現在	増減 (B)-(A)
資産の部			
流動資産	46,408	46,197	△211
現金および預金	7,400	5,002	△2,398
受取手形	4,989	4,914	△75
売掛金	20,388	22,071	1,683
たな卸資産	7,532	8,095	563
関係会社短期貸付金	3,002	2,908	△93
繰延税金資産	285	164	△121
その他の流動資産	2,830	3,063	232
貸倒引当金	△21	△22	0
固定資産	85,012	83,315	△1,697
有形固定資産	41,846	40,805	△1,040
建物	9,388	9,280	△108
構築物	3,113	2,946	△166
機械装置	13,448	12,455	△992
土地	14,056	14,056	-
その他の有形固定資産	1,839	2,066	226
無形固定資産	714	684	△29
投資その他の資産	42,451	41,824	△626
投資有価証券	16,585	15,427	△1,157
関係会社株式	17,970	17,970	-
固定化債権	8,562	9,053	491
前払年金費用	476	803	327
その他の投資その他の資産	2,087	2,170	82
貸倒引当金	△3,230	△3,599	△369
資産合計	131,420	129,512	△1,908

(単位:百万円)

	前事業年度末(A) 平成19年12月31日現在	当中間会計期間末(B) 平成20年6月30日現在	増減 (B)-(A)
負債の部			
流動負債	48,551	43,189	△5,362
買掛金	9,573	10,709	1,136
短期借入金	7,542	6,943	△599
コマーシャルペーパー	11,000	5,000	△6,000
未払法人税等	2,652	706	△1,946
預り金	13,308	15,292	1,983
その他の流動負債	4,475	4,537	62
固定負債	8,118	10,637	2,519
長期借入金	6,300	8,925	2,625
繰延税金負債	1,311	1,172	△139
役員退職慰労引当金	107	107	-
その他の固定負債	399	432	33
負債合計	56,670	53,826	△2,843
純資産の部			
株主資本	69,744	71,395	1,651
資本金	20,886	20,886	-
資本剰余金	18,339	18,350	10
資本準備金	18,031	18,031	-
その他資本剰余金	308	318	10
利益剰余金	31,243	32,932	1,689
利益準備金	3,990	3,990	-
その他利益剰余金	11,415	16,415	5,000
別途積立金	15,838	12,527	△3,310
繰越利益剰余金	△725	△773	△48
自己株式	△725	△773	△48
評価・換算差額等	5,006	4,289	△716
その他有価証券評価差額金	5,003	4,286	△716
繰延ヘッジ損益	2	3	0
純資産合計	74,750	75,685	934
負債・純資産合計	131,420	129,512	△1,908

■ 中間個別損益計算書

(単位:百万円)

	前中間会計期間(A) 平成19年1月1日から 平成19年6月30日まで	当中間会計期間(B) 平成20年1月1日から 平成20年6月30日まで	増減 (B)-(A)
売上高	38,808	42,075	3,266
売上原価	28,660	31,888	3,227
売上総利益	10,147	10,186	38
販売費および一般管理費	6,748	6,798	50
営業利益	3,399	3,388	△11
営業外収益	1,664	1,523	△140
受取利息および配当金	1,399	1,222	△176
雑収入	264	301	36
営業外費用	461	594	132
支払利息	201	179	△21
雑支出	260	414	154
経常利益	4,602	4,317	△284
特別利益	40	0	△40
投資有価証券売却益	40	0	△40
特別損失	161	505	343
固定資産処分損	140	136	△3
貸倒引当金繰入額	21	346	325
投資有価証券評価損	-	10	10
出資金評価損	-	10	10
税引前中間純利益	4,481	3,813	△668
法人税、住民税および事業税	1,350	610	△740
法人税等調整額	144	470	325
中間純利益	2,987	2,733	△254

■ 中間株主資本等変動計算書

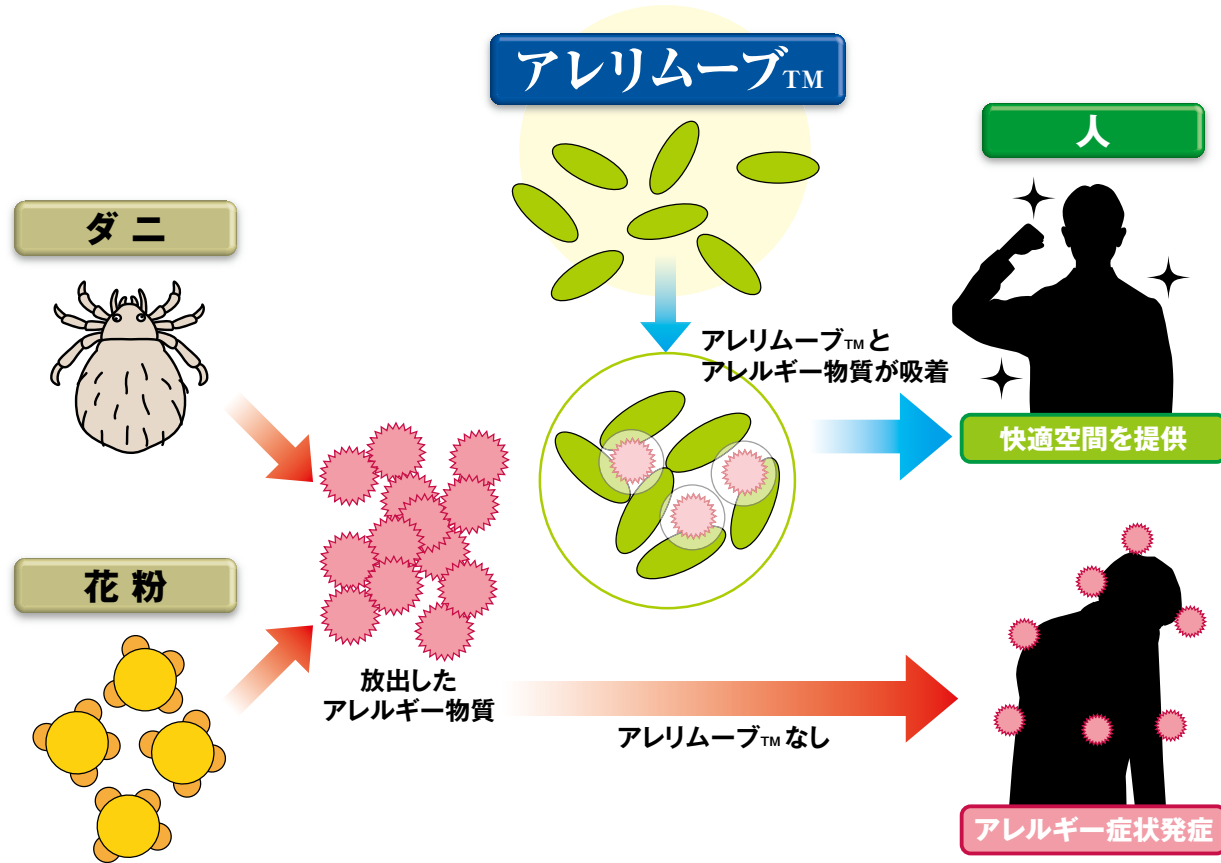
(平成20年1月1日から平成20年6月30日まで)

(単位:百万円)

	株主資本								評価・換算差額等			純資産計		
	資本金	資本剰余金		利益剰余金			自己株式	株主資本計	その他有価証券評価差額金	繰延ヘッジ損益	評価・換算差額等合計			
	資本準備金	その他資本剰余金	資本剰余金合計	利益準備金	別途積立金	繰越利益剰余金	利益剰余金合計							
平成19年12月31日残高	20,886	18,031	308	18,339	3,990	11,415	15,838	31,243	△725	69,744	5,003	2	5,006	74,750
中間会計期間中の変動額						5,000	△1,044	△1,044		△1,044				△1,044
剰余金の配当							△5,000	-		-				-
別途積立金の積立							2,733	2,733		2,733				2,733
中間純利益							2,733	2,733		2,733				△65
自己株式の取得									△65	△65				△65
自己株式の処分									17	17				27
株主資本以外の項目の中間会計期間中の変動額(純額)			10	10							△716	0	△716	△716
中間会計期間中の変動額合計	-	-	10	10	-	5,000	△3,310	1,689	△48	1,651	△716	0	△716	934
平成20年6月30日残高	20,886	18,031	318	18,350	3,990	16,415	12,527	32,932	△773	71,395	4,286	3	4,289	75,685

TOPICS 1 | 抗アレルギー剤「アレリムーブ™」発売

当社は抗アレルギー剤「アレリムーブ™」を開発し、発売を開始しました。当製品はダニや花粉、イヌ、ネコなどが放出するアレルギー物質を吸着し、アレルギー症状の発症を防ぎます。有機と無機のハイブリッドという特長を有し、「有機系」の性質である即効性と「無機系」の性質である耐熱性、耐水性、持続性を併せ持っています。また、着色および変色を抑えた設計になっているため、淡色系の製品への加工も可能です。空気清浄機やエアコンのフィルター、カーマットや座席シート、カーペットや寝具など、生活空間に広く利用されることを期待しています。

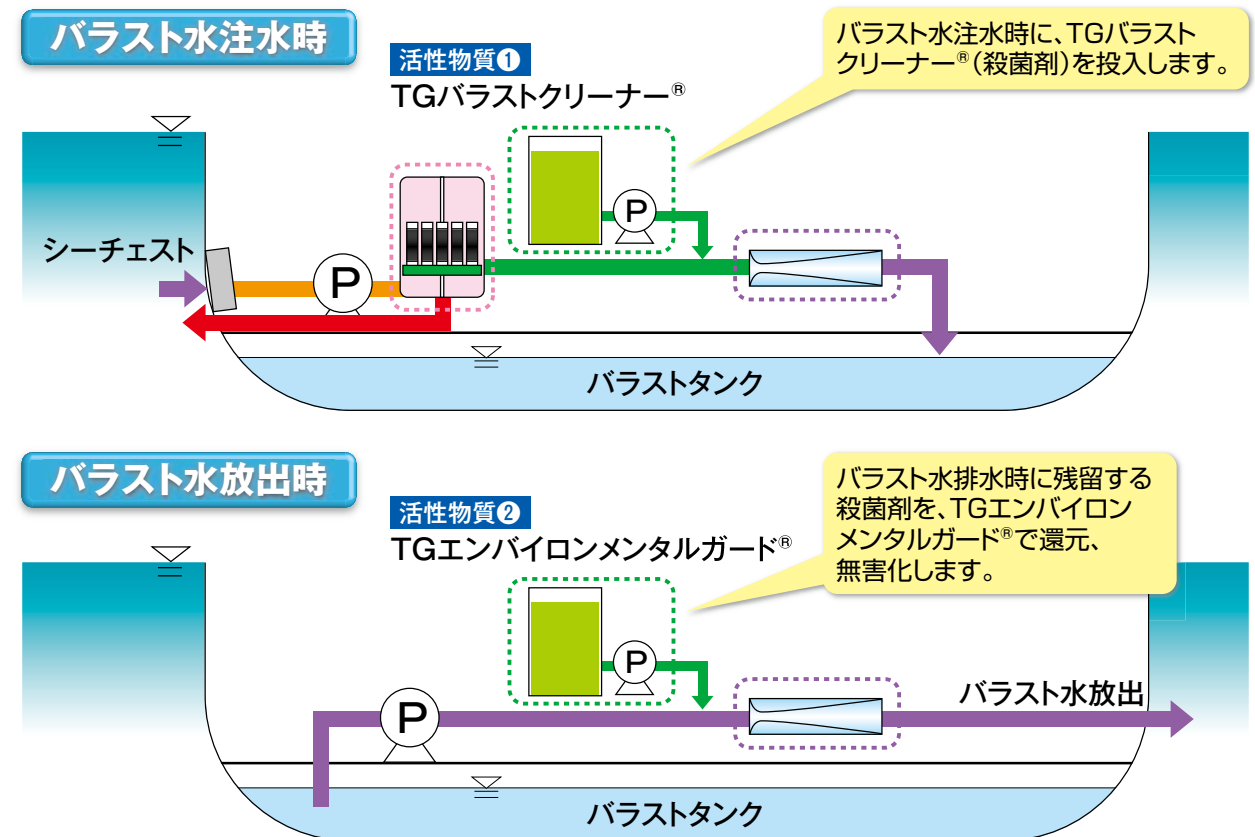


バラスト水処理薬剤を開発 | TOPICS 2

バラスト水に含まれる水生生物や微生物が本来の生息地でない環境中に拡散することで、生態系の破壊につながるほか、魚類への被害や、貝類が有害なプランクトンを取り込んで起きる「貝毒」など、人への健康被害も問題になっています。

東亜合成グループは、バラスト水中の有害水生生物や微生物を処理して無害化する活性物質を開発し、2008年1月、承認機関である国際海事機関(IMO)に在英大使館を通じて基本承認の申請を行いました。

※バラスト水とは貨物船が空荷で航行する際、船体を安定させるために積み込む海水。



08 会社の概要

平成20年6月30日現在

設立	昭和17年3月31日
資本金	20,886百万円
従業員数	連結2,553名 単独901名(平成20年6月30日現在)
事業所	<p>本店 東京都港区西新橋一丁目14番1号(〒105-8419) 電話 東京(03)3597-7215(代表)</p> <p>大阪支店 大阪市北区中之島三丁目3番3号 中之島三井ビル11階(〒530-0005)</p> <p>名古屋支店 名古屋市中区錦一丁目4番6号 三井生命名古屋ビル6階(〒460-0003)</p> <p>北陸営業所 高岡市二上院内500番地(〒933-0981)</p> <p>四国営業所 坂出市昭和町二丁目4番1号 坂出工場内(〒762-0004)</p> <p>福岡営業所 福岡市中央区天神二丁目14番2号 福岡証券ビル4階(〒810-0001)</p> <p>名古屋工場 名古屋市港区昭和町17番地の23(〒455-0026)</p> <p>徳島工場 徳島市川内町中島575番地の1(〒771-0188)</p> <p>高岡工場 高岡市伏木二丁目1番3号(〒933-0195)</p> <p>坂出工場 坂出市昭和町二丁目4番1号(〒762-0004)</p> <p>名古屋研究機構 名古屋市港区船見町1番地の1(〒455-0027)</p> <p>先端科学研究所 つくば市大久保2番(〒300-2611)</p>

取締役および監査役

代表取締役会長	山 寺 炳 彦
代表取締役社長	橋 本 太 太
取締役相談役	福 澤 文 士 郎
取締役	有 澤 章 夫
取締役	山 田 勝 敏
取締役	宮 崎 清 司
取締役	河 村 章 一
取締役	清 田 夫 一
取締役	野 村 聡 久
取締役(社外)	日 比 野 重 寛
監査役(常勤)	滝 野 剛 義
監査役(社外)	大 野 剛 義
監査役(社外)	佐 藤 勝 宏
監査役(社外)	花 田 文 宣
監査役	幡 谷 宣 男

東亜合成グループの主要な事業内容および主な関係会社

セグメント別	製品	主な関係会社
基礎化学品事業	苛性ソーダ、苛性カリおよび次亜塩素酸ソーダ・過塩化鉄液・液体塩素・塩酸など無機塩化物、硫酸など農業関連製品、硫酸、塩素系有機溶剤、窒素・アルゴン等の工業ガス、特殊ガス等	鶴見曹達(株)、東亜テクノガス(株)、東亜合成KOREA(株)
化学品事業 アクリル製品事業	アクリル酸、アクリル酸エステル、アクリル系ポリマー・高分子凝集剤などアクリル系各種重合剤、粉体塗料、建築・土木製品等	大分ケミカル(株)、日本純薬(株)、トウアゴウセイ・シンガポール・ピーティーイー・リミテッド、東亜建築(株)、MTアックアポリマー(株)
機能製品事業	アクリル系オリゴマー、銀系無機抗菌剤・無機系消臭剤・無機イオン交換体・エレクトロニクス材料などの各種開発製品、一般用・工業用各種接着剤等	台湾東亜合成股份有限公司、東昌化学股份有限公司、張家港東亜迪愛生化学有限公司、トウアゴウセイ・アメリカ・インク、東亜合成香港有限公司、東亜合成(珠海)有限公司、アロンエバーグリップ・リミテッド、アロン包装(株)、エルマーズ・アンド・トウアゴウセイ・カンパニー
樹脂加工製品事業	下水道関連管工機材製品、電力・通信関連管工機材製品、介護関連および環境保全関連などの生活用品関連製品	アロン化成(株)
事業内容	主な関係会社	
その他の事業	(株)TGコーポレーション、TOAエンジニアリング(株)、東亜ビジネスアソシエ(株)、東亜興業(株)、東亜物流(株)、北陸東亜物流(株)、四国東亜物流(株)	

09 株式の状況

平成20年6月30日現在

発行可能株式総数	550,000,000株
発行済株式総数	263,992,598株
株主数	26,127名

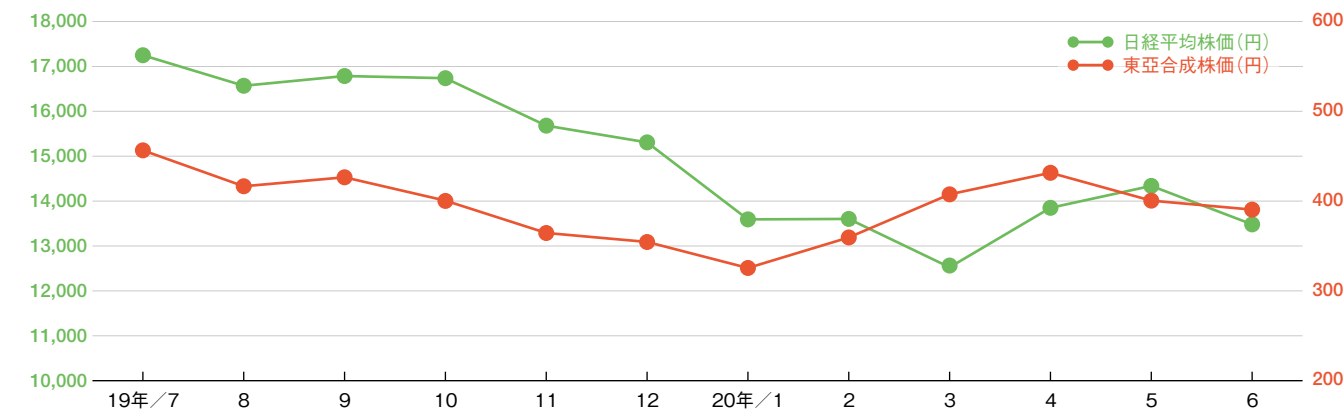
大株主の状況

株主名	株数(千株)	出資比率(%)
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	13,977	5.36
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	12,301	4.71
株式会社三井住友銀行	11,636	4.46
東亜合成取引先持株会	5,822	2.23
株式会社三菱東京UFJ銀行	5,648	2.16
東京海上日動火災保険株式会社	5,300	2.03
東亜合成グループ社員持株会	5,155	1.98
あいおい損害保険株式会社	5,000	1.92
農林中央金庫	3,944	1.51
三井生命保険株式会社	3,654	1.40

出資比率は、自己株式(3,029,839株)を控除して計算しております。

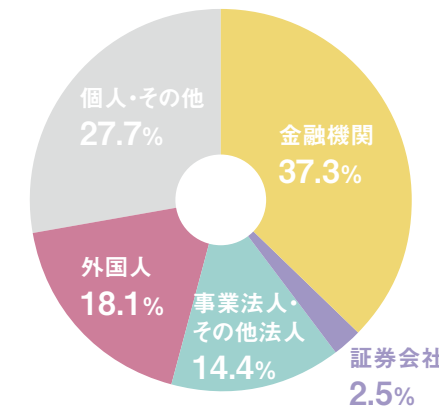
当社株価および日経平均株価推移

平成19年7月1日～平成20年6月30日



※ 株価は、東京証券取引所における毎月の最終株価の推移です。

株式所有者別分布状況



- 事業年度……………毎年1月1日から12月31日まで
- 定時株主総会……………毎年3月に開催
- 基準日……………定時株主総会・期末配当 毎年12月31日
中間配当 毎年6月30日
- 公告の方法……………電子公告の方法により行います。
ただし、電子公告によることができない事故
その他のやむを得ない事由が生じたときは、
日本経済新聞(東京)に掲載します。
公告掲載URL (<http://www.toagosei.co.jp/>)
- 株主名簿管理人……………東京都港区芝三丁目33番1号
中央三井信託銀行株式会社
- 同事務取扱所……………東京都杉並区和泉二丁目8番4号
(証券代行事務センター) 〒168-0063
中央三井信託銀行株式会社 証券代行部
電話 フリーダイヤル 0120-78-2031
- 同取次所……………中央三井信託銀行株式会社 全国各支店
日本証券代行株式会社 本店・全国各支店

ご案内

各種手続用紙のご請求について

各種手続用紙のご請求については、株主名簿管理人の電話およびインターネットで24時間お受けしております。
なお、手続用紙受付専用フリーダイヤルでは、

- ・住所変更届
- ・名義書換請求書
- ・単元未満株式買取請求書
- ・配当金振込指定書(銀行・信用金庫・ゆうちょ銀行の各口座をご指定いただけます)

のご請求をお受けしております。

■手続用紙受付専用フリーダイヤル **0120-87-2031**

■ホームページアドレス http://www.chuomitsui.co.jp/person/p_06.html